

科目区分：人文・社会科学科目

授業科目名	日本国憲法（生きた憲法の理論と実践）				学期	曜日	校時
英語名	The Constitution of Japan (Theory and Practice of Our Living Constitutional Law)						
担当 教員名	新井 信之	単位数	2 単位	必修 選択	選択	前期	水曜日 1 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法							
<p>本講義は、私たちが直面する社会問題の解決のために、生きた憲法の理論と実践について考える。最近の憲法問題を素材としてさまざまな角度からその検討を試み、私たちの日常生活と憲法とのかかわりについて理解を深めていく。さらに、今日の憲法改正の動きに対して、主権者として責任ある判断をすることのできる知識と法的思考能力を修得することを目指す。</p> <p>なお、授業の一環として裁判所見学を実施し、公開法廷の傍聴をおこなう予定でいる。</p>							
テ キ ス ト 、 教 材 等							
<p>テキスト・・・畑・阪本編『憲法フォーラム（改訂版）』（有信堂、2005年） 参考文献・・・畑博行編『現代法学入門』（有信堂、2004年）</p>							
対象学生	成績評価の方法				教員研究室		
全学部	定期試験、(60%)レポートと出席状況(40%)、授業態度等を総合的に評価する。						
授 業 計 画							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 近代立憲主義憲法の基本理念 法の支配 / 人権 / 権力分立 / 硬性憲法 2. 日本国憲法制定の歴史的背景 押付け(?) 憲法論 / 民主憲法の継受 / 日本国憲法の 1952 年誕生論 3. 国民主権と民主的な統治システム 主権の概念 / 代表民主制 / 議院内閣制と違憲立法審査権 4. 象徴としての天皇の地位 天皇制と民主主義 / 女性は天皇になれるか 5. 戦争放棄と平和・国際協調主義 日本国憲法の平和思想 / 周辺事態法 / テロ防止特別措置法 6. 生命の権利・自由 胎児の人権 / 死ぬ権利 / 人工生殖の権利とその限界 7. 子どもの発達の権利と最善の利益 家族的生活の保護 / 教育を受ける権利 / 少年司法と更生保護を受ける権利 8. パーソナルメディア時代の表現・言論の自由 表現の自由の優越的地位 / 知る権利 / メディアリテラシー 9. 男女共同参画社会と法の下での平等 平等の概念 / 男女雇用機会均等法 / セクハラ / 夫婦別姓 10. 高齢者の人権 三つの自由について 国家からの自由(生命) / 国家による自由(福祉) / 国家への自由(政治参加) 11. 公開討論会と政治活動の自由 選挙活動のルール / 公開討論会の意義 / 市民運動とボランティア 12. 地方分権と住民投票 地方自治の本旨 / 国民主権と直接民主制 / 参加民主主義 13. 司法制度改革と裁判所 公開裁判の原則 / 裁判手続き / 裁判員制度 <p>質問等は授業終了後受け付ける。</p>							